



# nara marathon 2023

## 奈良マラソン2023 スポンサーの横顔

平城遷都1300年を記念して始まった「奈良マラソン」。今年、第14回を迎える同大会は多くのスポンサーの皆様を支えられています。メインおよびサブメンスポンサーの皆様と奈良マラソンとの関わりの一部を「スポンサーの横顔」として紹介いたします。

### 奈良県オールトヨタ (奈良トヨタ、奈良トヨペット×ネットトヨタ奈良、トヨタレンタリース奈良、トヨタモビリティパーツ奈良支社)

#### 良き企業市民へ 事業活動“先導”

ドライブの楽しさを伝える車の数々を世に送り出すとともに、「良き企業市民」を目指し、豊かな社会づくりとその持続的な発展のため積極的に事業活動を進めるトヨタ。奈良マラソンには、奈良トヨタ、奈良トヨペット×ネットトヨタ奈良、トヨタレンタリース奈良、トヨタモビリティパーツ奈良支社の合計4社で奈良県オールトヨタとしてメイン協賛をしている。この4社は以前より社会貢献や、地元イベントへの協賛などを行っている。一昨年の7月27日には、奈良県オールトヨタより、奈良県に燃料電池自動車MIRAIを寄贈した。同月31日にはイオンモール大和郡山にて、奈良工業高等専門学校と共催で水素普及啓発イベント「脱炭素を実現する夢の水素エネルギー」を開催した。今年、8月24日にイオンモール大和郡山で奈良県主催の水素を題材とした化学教室「電池の仕組みを探ろう」を奈良工業高等専門学校と一緒に協力として3年連続で参加するなど奈良県オールトヨタとして環境にやさしいエネルギーの普及啓発にも積極的に努めている。奈良マラソンの当日は、奈良県オールトヨタよりハイブリッドカーなど5台が先導車としてコースを走ることになっている。また、スポンサーエリアの奈良県オールトヨタブースでは車両展示などが行なわれる。



一昨年の燃料電池自動車MIRAIの寄贈の様子

### 第一生命保険株式会社

#### 「Run with You」奈良マラソンで地域活性化に貢献!

第一生命は、一人ひとりの幸せのため、保険会社として提供してきた万が一の「保障」を磨き続けるだけでなく、「健康・医療」「資産形成・承継」さらには、人と人、人と地域や社会との新しい「つながり」で、お客さまの「クオリティ オブ ライフ (QOL)」向上に貢献していきたいと考えています。

中でも「健康・医療」を応援する活動の一環として、誰もが参加でき、身近な健康増進スポーツである「市民マラソン」の支援を通じて健やかな生活のサポートをしていきたいという想いから2015年に「Run with You」プロジェクトを立ち上げ、2016年からこれまで奈良マラソンに協賛を続けています。エリアを代表する全国の市民マラソン大会に協賛することで、全国のランナーの皆さまを応援するとともに、地域の活性化にも貢献していきます。

また、2023年4月に着任した奈良支社長品川賢太郎は「お客さまと地域社会の期待を超えるオンリーワンの存在になろう」をスローガンに掲げ、この12月には第一生命グループ女子陸上競技部の元選手を講師に、平城宮跡歴史公園で「ランニング教室」を開催しました。スポーツの分野以外でも県下の小学校・中学校・高校にて金融リテラシー教育の一環として、当社が開発した消費者・金融保険知識をすころく形式のゲームで学ぶことができる「ライフサイクルゲームⅢ～生涯設計のススメ～」を出張授業形式で実施する等、今まで以上に地域の皆さまとの結びつきを強化し健康づくりや地域活性化に取り組んでいます。



### JAグループ奈良

#### 大会名物・豚汁でランナー応援!

第1回「奈良マラソン2010」から大会を応援するJAグループ奈良。背景には、「健康」を支える「食」、「食」を担う「農」との想いがある。「健康」「食」「農」の3つの要素を繋げ、地域の元気や持続可能性を支えたい—JAならけんの願いでもある。

その象徴が、大会中同グループブースに登場する、大会名物とも言える「豚汁」だ。通年、女性部が丹精込めて作り上げた味噌をベースに、大根、ニンジン、ごぼう、豚肉といった県産農畜産物を具材にしたJAならけん自家製「豚汁」は、栄養価に富み、体と気持ちまで温まるとランナーに好評。それは、農家組合員の生産への努力とランナーが繋がる瞬間でもある。

現在の物価上昇は、肥料や燃料他農業生産資材も例外ではなく、農業分野にも逆風が吹く。他方、物価上昇を反映しにくい農業経営であっても、農家組合員の頑張りがある。その農家組合員に

対してJAならけんでは、生産資材価格抑制への独自の取り組みをはじめ、担い手や営農指導へのサポートを積極的に展開。又屈指の規模の農産物直売所まほろばキッチン他販路創出、若い女性世代が農業、県産農産物を学び、体験する女性大学等「農」への関心を高め、実効に繋がる取り組みを展開してきた。農家所得が向上し、担い手の拡充め、「農」が元気になる先に地域活性と持続可能性を描く。「農」を通じ、大会はもとより、地域になくはならないJAならけん目指し、走り続ける—



県産野菜が詰まった自家製「豚汁」を販売するJAグループ奈良スタッフ(2019大会より)

### 村本建設株式会社

#### 地域社会とともに歩む

村本建設は創業の地である奈良県において、地域の発展と社会貢献を目指して第5回奈良マラソンから協賛を続けている。村本建設は、道路・トンネル・橋・下水道など人々の生活の基盤となるインフラ整備、学校・病院・オフィス・マンションなど人々が安全で安心に暮らすためのものづくりを全国で行っている。地域社会とともに歩み、持続可能な未来を築くことを志しに、奈良マラソンを通じて、地域の健康づくりと交流を促進している。

奈良マラソンでは、毎年、給水ボランティアやブースを通じてランナーの皆さんをサポート。ブースでは、松ぼっくりツリーの配布、コロナ禍前には参加者の方々が楽しんでいただける企画も行い、多くの方に参加いただいた。松ぼっくりツリーは開催毎に集められている方もおり、クリスマスシーズンが近いこの時期には大勢の方に喜んでいただいている。村本建設は、これからも全国から参加するランナーの皆さんを心から応援し、奈良マラソンを通じて地域社会との絆を深め、健康と活力ある社会の実現に貢献していく。我々は地域社会とともに成長し、持続可能な未来を築くために、引き続き努力していく。



### 株式会社中谷本舗

#### 奈良吉野伝統の味をお届け

全国で10店舗以上を展開する柿の葉寿司の老舗、(株)中谷本舗。田原本町の唐古・鍵遺跡の隣に工場と店舗を保有している。柿の葉寿司は、吉野地域に住む人々にとって、代々受け継ぐふるさとの味。その味を守り、奈良から全国へと更なる発展を目指している。

大正10年、奈良県吉野大台ケ原・上北山村に、中谷勘市郎が創業した中谷商店は、林業者を支える米屋として誕生。当初から米へのこだわりは強く、妻キクエの炊くふっくらとしたご飯は評判で「おにぎりにしてもおいしい」と人気だった。米屋のかたわら寿司の商品化も早く、戦後には惣菜、おにぎりなども手掛けるようになった。中谷本舗の出発点と言える自慢の米は、奈良県内だけでなく、東京駅グランスタ内の「笹八」をはじめ、百貨店内「みざさ」売場でも購入が可能。

米の炊き方は、創業以来変わらず、ふっくらとしながら魚や葉の風味をたっぷり吸った旨味加減や口どけの良さが自慢。当日ブースで販売する柿の葉寿司は、県外ランナーのお土産として毎年人気が高く、喜ばれている。

また2021年からは給水所での提供が行われ、ランナーの疲れた身体を癒やしている。

中谷昌紀社長は「奈良マラソンは県を代表する大きなイベント。ランナーの方はもちろん、ご来場者の方々に少しでもお役に立てれば…」と話す。



県外の方にも認知度が高く、人気商品は早々に完売